**「日本の諸地域」各地方の導入学習の授業構成例　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　宇　野　彰　人**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **地　　方** | **はじめに注目させたい地理的事象と作業** | **関連付けるおもな内容** | **ここから捉える地域の特色** | **地図帳の主題図例** |
| **九州地方** | 【火山の分布】  ①火山の記号を探し、シールを貼る（○で囲む）  ②主な火山名と分布のようすを確かめる  ③火山の周辺に見られる地図の記号を挙げる   |  | | --- | | 火山は九州の人々の生活とどのようなかかわりを持っているのだろう。 | | ・**観光・保養**：　阿蘇山、桜島、雲仙岳・湯布院など  ・**豊富な地下水と産業**：温泉、地熱発電、  農業、IC関連工業、漁業  ・**自然災害・防災・減災**：　火砕流、  降灰、土砂崩れ、水害 | 九州地方は火山が多く、その付近は温泉も多いため観光・保養地になっている。また豊富な地下水は飲料水のほか様々な産業を発達させている。一方火山による災害や、台風等によるがけ崩れや洪水も多く、対策を講じている。 | ・阿蘇の産業  ・九州地方の工業  ・シラスの分布と開発  ⇒「自然環境を中核とした考察」 |
| **中国・四国地方** | 【港の分布】  ①港の記号を探し、シールを貼る（○で囲む）  ②商港と漁港を分類し、分布のようすを確かめる  ③港の周辺に見られる地図の記号を挙げる  ④航路がどことどこを結んでいるか確かめる   |  | | --- | | 瀬戸内にはなぜ港が多いのだろう。またそれらの役割と変化を調べよう。 | | ・**漁港**：　カキの養殖など、  ・**商（工業）港**：　宇部、広島、呉、  岡山、新居浜、松山等  　　　　　　　　―瀬戸内工業地域  ・**古くからの交易**：隋・唐・明等および  朝鮮通信使、西回り航路  ―北九州を通して畿内と結ぶ交通路  ・**四国や離島を結ぶフェリー**：  ３つの本四架橋、山陽自動車道 | 中国・四国地方は、入り江を生かして古くから港が発達し、漁業や交易が盛ん。瀬戸内海は畿内と北九州や中国等を結ぶ重要な交通路で、今も港の多くは瀬戸内工業地域の工業の発展を支えている。3ルートの本四架橋は物流や通勤・通学の便等を良くしたが、フェリー航路は減少している。 | ・フェリー航路  ・中国・四国地方の交通の変化  ・中国・四国地方の工場の分布の変化  ⇒「他地域との結び付きを中核とした考察」 |
| **近畿地方** | 【国立・国定公園、文化遺産の分布】  ①国立・国定公園並びに文化遺産を探し、シールを貼る（○で囲む）  ②それらの分布のようすを確かめる  ③京都市、奈良市の都市図を見て街並みと保存地区などを確かめる   |  | | --- | | 近畿地方に歴史遺産や史跡が多いのはなぜだろう。また、豊かな自然や文化遺産の保存と人々の生活の共存のためには、どのような工夫が必要だろう。 | | ・**恵まれた自然**：海岸や湖、山々の景観  ・**琵琶湖の水の利用**：飲料水、漁業、  水運、農業用水、工業用水  　　　―水位の低下、水質汚濁などの  　　　　環境問題  ・**多くの文化財**：古くから都、政治・  文化・経済の中心地  ・**都市化・便利な生活と歴史的景観・**  **建造物の保存の両立**：歴史遺産型美観地区、世界遺産 | 近畿地方は、国立・国定公園が多く、また古くから日本の政治・文化の中心地で文化財も多く、世界遺産に指定されているものも少なくないため観光客が多い。一方、琵琶湖の水は生活や産業にとって貴重な資源のため、環境保全に留意している。また、歴史遺産の保護と便利な生活を共存させるため様々な工夫がなされている。 | ・京都・奈良の市街図  ・琵琶湖の水利用  ・琵琶湖の環境問題  ・阪神工業地帯  ⇒「環境問題や環境保全を中核とした考察」 |
| **中部地方** | 【発電所の分布】   1. 発電所の記号を探し、シールを貼る（○で囲む）   ②水力と火力それぞれの発電所の分布のようすを確かめる   1. なぜそのような分布になるのか立地条件を考える  |  | | --- | | 水力や火力の発電所はどのような所に立地しているのだろう。またつくられた電力はそれぞれの地域でどのような産業と結びついているのだろう | | ・**水力発電所**：山間部、谷、保全の苦労  ・**火力発電所**：臨海部、燃料の輸入  ・**北陸：**金属・化学工業  ・**中京工業地帯・東海工業地域**：輸送機械、楽器  ・**中央高地**：精密機械 | 中部地方は山がちで、水力発電所が多く、また臨海部には火力発電所があり、北陸、中央高地、中京・東海の各地に電力を供給し、特色ある工業を発達させている。 | ・中京工業地帯  ・東海工業地域  ・北陸地方の工業  ・諏訪湖周辺の工業地　　域  ⇒「産業を中核とした考察」 |
| **関東地方** | 【大都市の分布】  ①人口50万人以上の都市の記号を探し、シールを貼る（○で囲む）  ②東京からの距離など、人口50万人以上の都市の分布のようすを確かめる  ③その都市を通る鉄道、自動車道路を確かめる   |  | | --- | | なぜ都心から約５０ｋｍ圏内に人口が集中しているのだろう。また都市と農村とはどのような点で違いがあるだろう | | ・**台地と低湿地の開発**  ・**人口集中**：高い人口密度、集約的な土地利用、市街地の拡大  ・**大消費地**：近郊農業などの産業の発達  ・**交通の発達**：観光・保養地と結ぶ私鉄、地下鉄、都心への相互乗り入れ、国際空港、国際港  ・**都市問題**：渋滞、大気汚染、ゴミ、  ・**再開発**：工場跡地、新都心、筑波  ・**防災・減災**：住宅密集地、帰宅難民、 | 関東地方は人口50万人以上の大都市が多く、人口密度が高い。そのため土地利用は高度に集約され、交通網も整備されている。一方、昼夜人口の差や、職場と住宅が離れていることによる問題、住宅団地の入居者の高齢化などの問題がある。 | ・東京周辺の人口増加率と通勤・通学者  ・東京大都市圏の地価分布  ・東京周辺の昼夜間人口比率  ⇒「人口や都市・村落を中核とした考察」 |
| **東北地方** | 【伝統工芸品の分布】   1. 伝統工芸品を探しシールを貼る（○で囲む）   ②伝統工芸品の分布のようすを自然環境から  確かめる   1. 伝統工芸品と近くの温泉・観光地、および交通網を確かめる。  |  | | --- | | 東北地方にはなぜ伝統工芸品が多いのだろう。また交通の発達・整備によって東北地方はどのように変化してきたのだろう | | ・**中山間地**：木材、漆、温泉、土産  ・**米の単作地**：積雪、出稼ぎ  ・**果樹栽培**：リンゴ、桃、さくらんぼ  　　　　　　観光農園、  ・**雪害対策・利雪**：融雪、雁木、スキー  ・**観光客の増加**：祭・史跡・遺跡、世界遺産、  ・**交通の整備**：南北、東西に鉄道・自動車道網の整備 | 東北地方は伝統工芸品が多く、その大部分は中山間部に分布している。それらの多くは温泉地の土産物として売られていたが、後継者不足等ですたれてきており、また2011年3月の震災・津波や原発事故で持続不可能になっている生活や伝統文化もある。一方交通網の整備は、観光や新しい工業の発達などの地域の変化をもたらしている | ・東北地方の自然・産業・くらし  ・東北地方の稲作と冷害  ・東北地方の工業  ⇒「生活・文化を中核とした考察」 |
| **北海道地方** | 【カタカナの地名の分布】  ①カタカナの地名を探し、シールを貼る（○で囲む）   1. カタカナの地名の分布のようすを確かめる   ③歴史的人物や本州の地名等と係わりのあり  そうな地名を探す   |  | | --- | | 北海道にはなぜカタカナの地名が多いのだろう。その他、地名にはどんな語源や歴史的背景があるのか調べよう | | ・**アイヌ居住地**：狩猟、ユーカリ、和人  との交易、シャクシャイン  ・**移住**：松前氏、伊達氏、京極氏、池田  　　　　氏、のちに旧士族、旧幕府側の東北諸藩、  ・**北海道開拓使**：泥炭地・火山灰地、屯田兵、開拓と北方警備、札幌  　　　　農学校、  ・**稲作の北進と大規模畑作・酪農**  ・**鉱工業と北洋漁業の盛衰**  ・**国後・択捉島の地名：**北方領土 | 北海道地方にはアイヌ語に由来する大自然を表す地名が多く、また歴史的人物等に関する地名も多い。蝦夷地が明治時代に北海道と改称され、漢字をあてた地名も多いが、そのまま先住民アイヌの言葉を使用してカタカナ表記で今日に至るものが多数ある。江戸時代から開拓とともにロシアとの外交上の問題をかかえている。 | ・開拓の歴史  ・札幌市中心部  ⇒「歴史的背景を中核と  した考察」 |